

瑞穂野地域学校園

瑞穂野中 瑞穂野北小
瑞穂野南小 瑞穂台小

瑞穂野地域学校園の取り組みでは、10月に「本とのコラボ給食」11月に「みずほの給食」12月に地域学校園同一日の「お弁当の日」を実施しました。そのほか、「みずほのぱくぱくだより」を発行しています。

「本とのコラボ給食」
10月に「かいけつゾロリ」より「ダジャレ給食」を実施しました。
「びっくりごはん きゅうにゅう イカすイカやき もりもりたべやさい きょうふのみそしる」



「みずほの給食」
11月に地域学校園統一献立「みずほの給食」を実施しました。今回は、瑞穂野南小 5年 増淵真都さんの考えた献立です。
「しらすいり菜飯 牛乳 豚肉の味付け焼き ごまあえ さつまいものみそ汁 りんご」



地域学校園キャラクター
ミドリーム



瑞穂野地域学校園では、お弁当の日を年2回実施しています。(うち1回は同一日での実施)
小中学校9年間を通した食育ができるように「食育ファイル」を作成し、活用しています。お弁当の日を同一日に実施して統一のテーマ「まごわやさしい」の食品を一品以上使うにし、家庭での話題作りや料理の幅を広げ、生きる力を養うようにしています。



児童保護者からの感想等

<児童の感想>

- きゅうしょくもおいしいけど、おかあさんのあじがすきだよ。(1年児童)
- おべんとうをつくってくれて、ありがとう。こんどは、ぼくがつくる。ママにたべてもらいたい。(2年児童)
- お母さんは、めんどうでもお弁当を作ってくれてすごいです。ぼくも、めんどうでもやることはやる大人になりたいです。(3年児童)
- 実際にお弁当を作ってみてとても大変だったので、料理を作ってくれるお母さんや調理員さんに感謝したいです。(4年児童)
- お母さんやお父さんの分も作ってあげたいです。(5年児童)
- 去年より自分でできることが増え、自分が成長したなと少し感じました。(6年児童)
- 親に感謝しないとなあと思った。(6年児童)
- ももとのほうれん草の体積と比べて、炒めた後のほうれん草はとても体積が小さくなっていたのでおどろいた。(6年児童)

<保護者より>

- これまで、お弁当というと子供の好きなものを入れるだけでしたが「まごわやさしい」の食品を何にするか、一緒に考えたり作ったりすると、苦手なものでも完食できるものだと、親も勉強できました。また、週2回のスイミングに持っていくおにぎりも積極的に自分で三角に握るようになり、嬉しいかぎりです。
- 今回一緒にお弁当を考えたら、娘が意外と和食が好きで、肉よりも魚が好きになりました。
- 「まごわやさしい」を食事に取り入れていこうねと話しました。子供の発想に驚かされました。
- 帰ってきてから自分でお弁当箱を洗っていてびっくりしました。
- おべんとうに何を入れるか一緒に考えることができ、コミュニケーションが取れました。[ありがとうカード]は、とてもうれしかったです
- 早起きして1年生の弟に教えながら作ってくれました。大きなおにぎりを2つもって行くようになり「大きくなったあ」と思いました。
- 最初から最後まで一人で作ることができました。さすが6年生!
- 日ごろから料理をしているので、手際よく作っていました。妹のおべんとうの面倒を見てくれてありがとう。

